

AVシステムラック

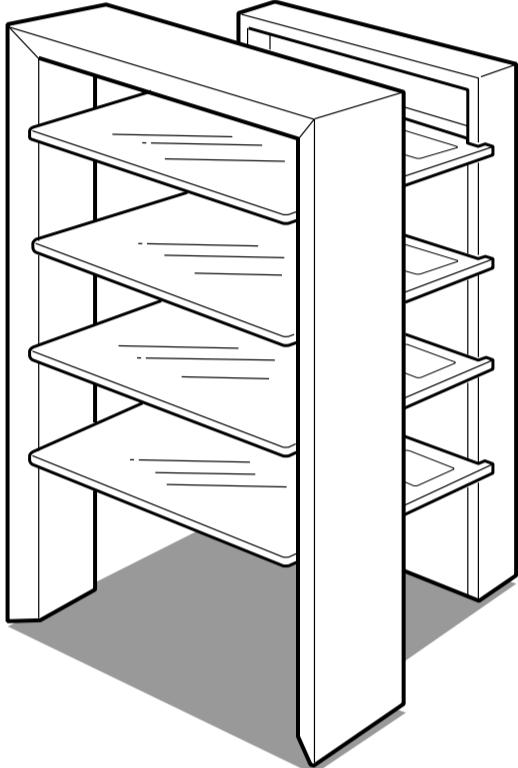
SU-AVHS1

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠ 警告 安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



Sony Corporation © 2002 Printed in Japan



安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかししあがった使いかたをすると、火災・感電・転倒などにより人身事故になることがあります。事故を防ぐために安全のための注意事項を必ずお守りください。

警告表示の意味

取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・転倒などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。



この表示の注意事項を守らないと、けがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



下記の注意事項を守らないと火災・感電・破裂により死亡や大けがの原因となります。

テレビや収納機器の各種接続ケーブルを挟まないようにする

- 機器などをAVシステムラックに載せるとき、各種接続ケーブルを挟み込まないようにする。
コードに傷がついて火災や感電の原因となります。
- AVシステムラックを動かすとき、各種接続ケーブルを踏まないようにする。
コードに傷がついて火災や感電の原因となります。



下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

AVシステムラックに乗ったり、ぶら下がったりしない

AVシステムラックが転倒して、大けがの原因となることがあります。



ガラス棚板の上に乗ったり、すき間に入り込んで遊ばない

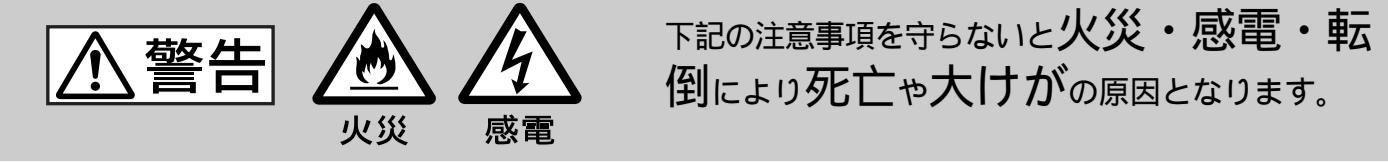
ガラス棚板の上に乗ったり、足を掛けたりすると、ガラスが割れたり、AVシステムラックが倒れたりして、大けがの原因となることがあります。



ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●ナビダイヤル 0570-00-3311 受付時間：
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます)
●携帯電話・PHSでのご利用は..... 03-5448-3311 土・日・祝日
●Fax 0466-31-2595 9:00~20:00

http://www.sony.co.jp/

この説明書は100%古紙再生紙とVOCA揮発性有機化合物ゼロ植物油型インキを使用しています。



載せる機器は、指定の質量を超えないようとする指定の質量を超えると、ガラス棚板が割れたりして、ガラスの破片が飛び散り、けがの原因となることがあります。

傾いた床面に設置しない

傾いた床面に設置すると、AVシステムラックが転倒したり、設置している機器が落下したりして、けがの原因となることがあります。



踏み台にしない

倒れたり、落ちたり、ガラス棚板が割れたりして、けがの原因となることがあります。

過熱した鍋、湯沸しなど
熱いものを置かない
ガラス棚板が割れたりして、AVシステムラックを傷める原因となります。



組み立ては、手順に従ってしっかり組み立てる

ネジがゆるんでいたり抜けていたり、AVシステムラックが歪んで転倒し、けがの原因となることがあります。特に飛出防止クランパーはガラス棚板の飛出し防止のため確実に取り付けてください。



ガラス棚板に力をかけない

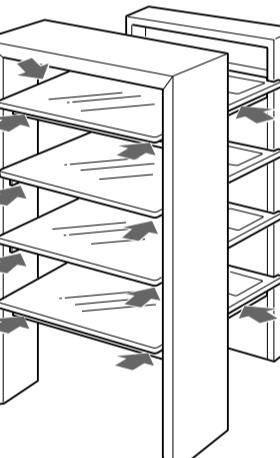
組み立てるときや、収納機器を設置するときに、ガラス棚板に手をついて体重をかけたり、ドライバーなど硬いものを落としたりしないでください。ガラス棚板が割れて、けがの原因となることがあります。

ガラス棚板同士をぶつけない

ガラス棚板が割れて、けがの原因となることがあります。

指を挟まないように注意する

ガラス棚板を取り付けるときは、ガラス棚板とフレームの隙間に指などを挟まないようにご注意ください。

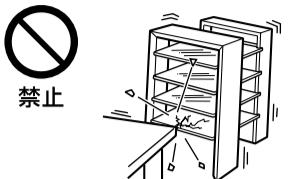


下記の注意事項を守らないと火災・感電・転倒により死亡や大けがの原因となります。

ガラス棚板に強い衝撃を与えない

AVシステムラックには強化処理を施したガラスを使用していますが、絶対割れないわけではありません。割れると、けがの原因となりますので下記のことをお守りください。

- 物をぶつける、先端の尖った物を落とすなど、強い衝撃を与えない。



- 鋭利な物で傷をつけたり、ガラス面を突いたりしない。

- 収納機器を設置するときに、ガラス棚板の端面にぶつけない。



- 掃除機など、固い物をガラス棚板の端面に当てる。

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

堅くて平らな床面に設置する

設置場所は、堅くて平らな床面にしてください。設置場所によってはAVシステムラックの変形や傾きが生じることがありますので、下記のことをお守りください。

- 畳、じゅうたん、カーペットなどの上に置くときは板など堅い物を敷く
- 直射日光が当たる場所や、暖房器具のそばに置かない
- 高温多湿の場所や屋外に置かない

化学薬品を使って、お手入れをしない

お手入れをするときには、柔らかい布で、から拭きしてください。汚れがひどいときは、食器用洗剤を5~6倍に薄め、柔らかい布に含ませて軽く拭き取ってください。シンナー・ベンジンなどの化学薬品はAVシステムラックの仕上げを傷めることができますので、使わないでください。

ガラス棚板の部分を持って動かさない

AVシステムラックを動かすときは、ガラス棚板の部分を持たないでください。ガラス棚板が落下して破損したり、金具が壊れたりする原因となります。

収納機器を設置したまま動かさない

機器を設置したまま、AVシステムラックを動かさないでください。ガラス棚板が割れたり機器が落下したりして、思わぬ事故の原因となります。

押したり引いたりしない

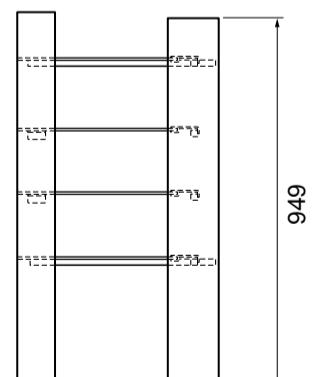
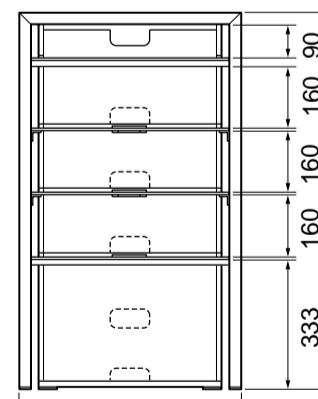
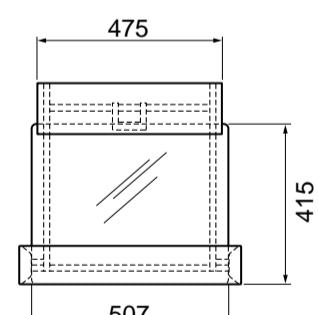
AVシステムラックを動かすときは、押したり引いたりしないでください。AVシステムラックが転倒したり、ガラス棚板が落下して破損したり、金具が壊れたりする原因となります。

主な仕様

単位： mm

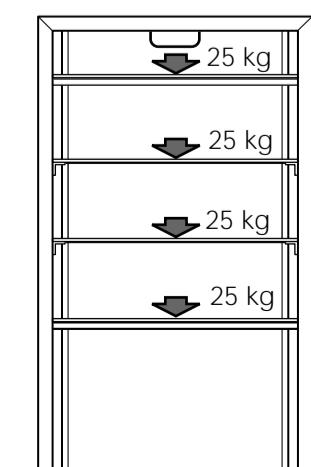
質量： 28.9 kg

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります、ご了承ください。



ガラス棚板の積載量について

それぞれのガラス棚板には、図に示す質量以上のものを載せないでください。ガラスが割れることがあります。



手順1：組み立てに必要な部品を確認する

名 称	数 量	名 称	数 量
AVシステムラック		ガラス棚板	4
		目隠し板	3
	1	飛出防止クランパー (一体型ネジ付き)	4
背面カバー	1	ネジ(大) ④ 4x25 mm	6
		ネジ(小) ④ 3.5x16 mm	6

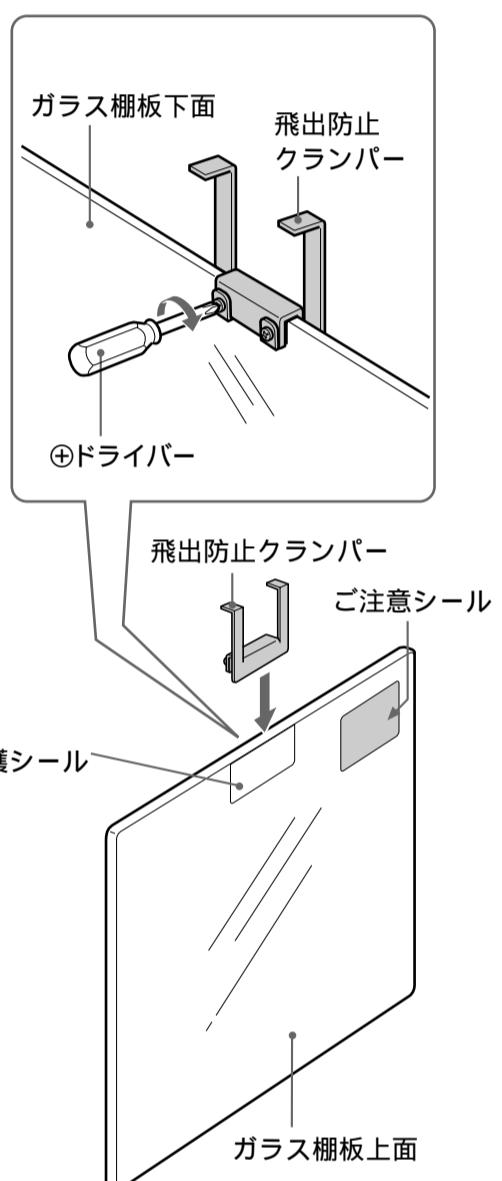
組み立てる前に④ドライバーをご用意ください。

➡ 矢印は正面方向を示します。

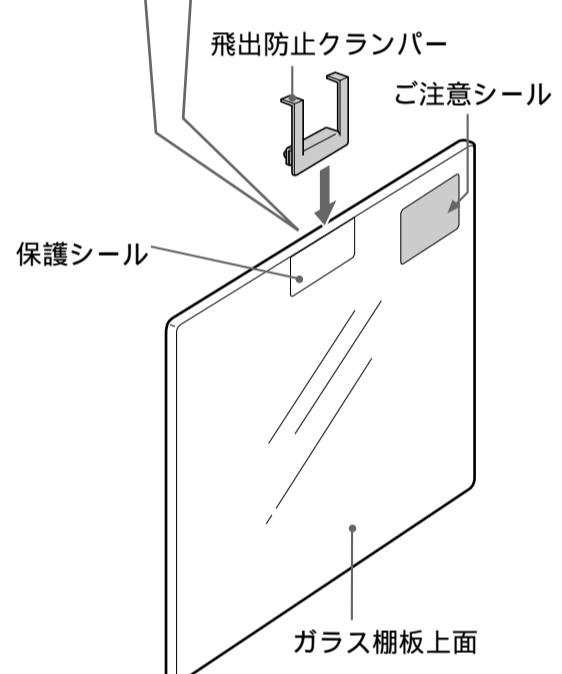
手順2：飛出防止クランパーを取り付ける

ガラス棚板は、4枚同一形状です。

- 1 右下の図のように、ガラス棚板の保護シールの上に、飛出防止クランパーを差し込む。



- 2 飛出防止クランパーを、拡大図のようにガラス棚板の下面側から、一体型ネジ(2本)で固定して、ガラス棚板にしっかりと取り付ける。



ご注意

・ガラス棚板に飛出防止クランパーを取り付けるときは、手や指を挟まないようにご注意ください。

・飛出防止クランパーが、しっかりと固定されていることを確認してください。

手順3：ガラス棚板を取り付ける

- 1 ガラス棚板を後支柱の切り込み部分に差し込む。

ご注意

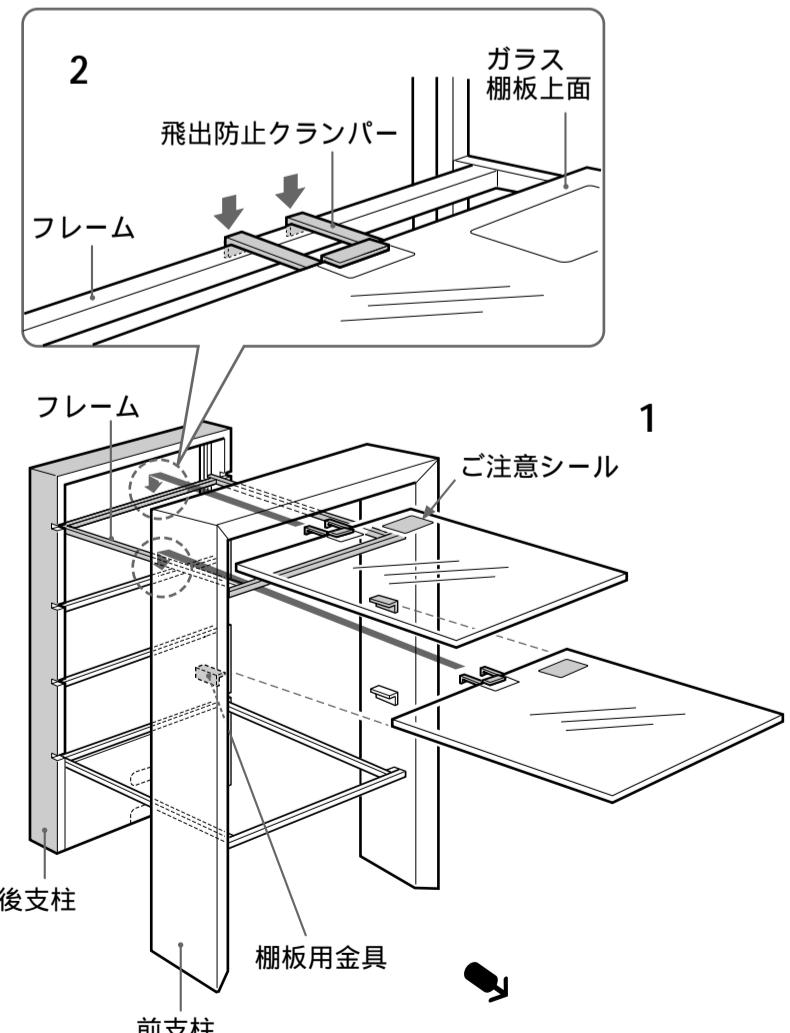
ガラス棚板は、上段から下段へ順番に取り付けてください。

1段目と4段目を取り付ける場合

ガラス棚板をフレームの上に載せ、後支柱の切り込み部分に差し込む。

2段目と3段目を取り付ける場合

ガラス棚板を前支柱の棚板用金具に載せてから、後支柱の切り込み部分に差し込む。



- 2 飛出防止クランパーをフレームにしっかりと引っ掛け、ガラス棚板を固定する。

ご注意

・ガラス棚板を落とさないようにご注意ください。

・ガラス棚板を載せるときには、ガラス棚板の上に手を置いたり、ガラス棚板の端を支柱や棚板用金具にぶつけないようにご注意ください。

・ガラス棚板がしっかりと固定されていることを確認してください。

手順4：目隠し板を取り付ける

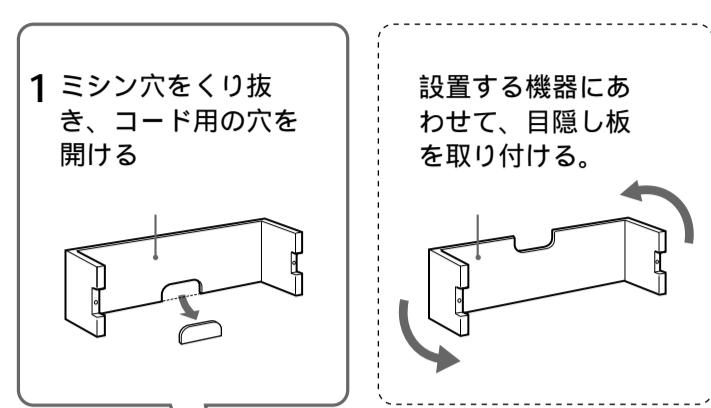
目隠し板を取り付ける前に、収納機器の奥行きをご確認ください。

目隠し板を取り付けると、配線コードを隠すことができます。目隠し板を取り付けることで、収納機器がガラス棚板からはみ出してしまうときは、目隠し板を使わずに、収納機器を設置してください。

1 ミシン穴をくり抜く。

目隠し板のミシン穴を、設置する機器にあわせて、必要に応じてくり抜き、コード用の穴を開ける。

1 ミシン穴をくり抜き、コード用の穴を開ける



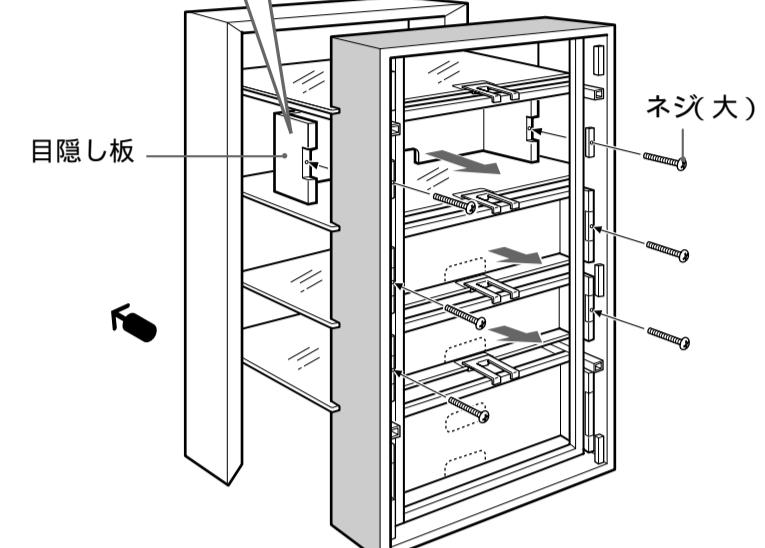
2 目隠し板を取り付ける。

後支柱の凸部に、目隠し板の凹部をはめて取り付ける。

△ちょっと一言
目隠し板は、上下どちらの向きでも取り付けることができます。設置する機器にあわせて取り付けてください。

3 目隠し板をネジで固定する。

目隠し板(1枚)をネジ(大)2本で固定する。

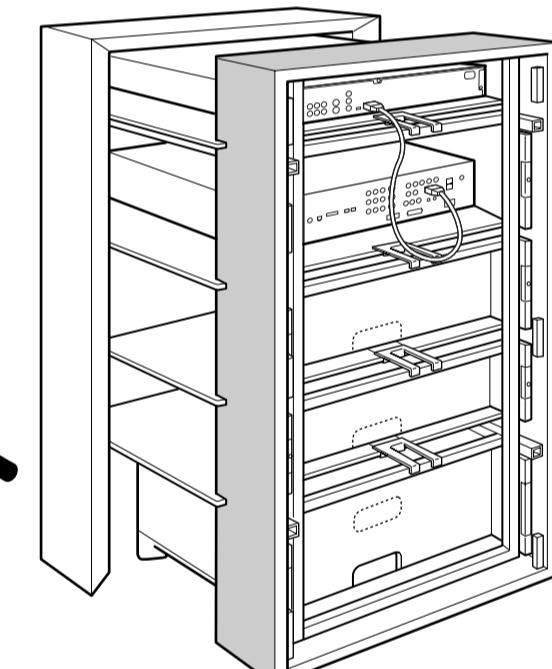


手順5：機器を設置する

- 1 設置する機器に必要なコードを取り付け、ガラス棚板に静かにのせる。

ご注意

- ・収納機器の接続がすべて完了してから、電源コードをコンセントにつないでください。
- ・4段目下のスペースにサブウーファーを設置したときは、4段目にDVDデッキやCDプレーヤーなどを置かないでください。振動により音飛びが生じる場合があります。



2 背面カバーをかぶせる。

収納機器のコードを背面カバーの穴から出す。

△ちょっと一言
背面カバーには、予備のネジ穴がついています。6カ所のネジ留め部分は、各1本のネジで固定してください。

ご注意

- ・背面カバーを取り付けるときは、コード類を挟み込んだり、傷つけないようにご注意ください。
- ・コード類が多いときは、無理にカバーを取り付けないでください。
- ・電源コードは、たばねると発熱することがあります。他のコードと一緒にカバー内でたばねないでください。



- 3 背面カバーの底部とAVシステムラックの底部をあわせ、ネジ(小)6本で固定する。

ご注意

ネジ留めをしないと、振動などでカタカタ音がしたり、移動時にカバーが外れたりすることがありますので、必ずネジ留めをしてください。

